



首里中学校旗頭同好会

首里中学校旗頭同好会は、子どもたちの居場所づくりの一環で五年前に結成され、瑞雲同好会の指導の下、約二十名の生徒が活動しています。十月の那覇まつりには、瑞雲同好会と共に中学生旗として初の参加を果たしました。「練習と本番の表情がまったく違っていて、とても頼もしかった」と結成当初から生徒たちの世話を焼く照屋仁徳さんは語ります。中学生と共に衣装を着て参加した神谷乗仁校長は「人との関わり、体験を通じて、地域の良さを感じて欲しい。首里にはその素材がたくさんある」と生徒たちを優しく見守ります。

那覇まつりの迫力を体験した大城竜也君、金城雄輔君(中三)は、卒業後は地元の青年旗をあげたいと意欲を燃やしています。旗頭は男のプライドですと、大人びたセリフを言うその眼は、未来の旗頭としての凜とした強さを感じました。



首里中学校旗頭同好会の皆さん(守礼写真館提供)

ウグシク情報

ウグシク(御城)とは、首里城のことです。元々は敬称ですが、首里では今でも親しみを込めてこの呼び方を使います。

新春の宴

首里城ではかつて元旦早朝に、「朝拝御規式(ちようはいおきしき)」という儀式が御庭で行われていました。「新春の宴」では、この儀式の再現を行うほか、古典芸能の舞台が行われます。また、正月に諸官へ泡盛が振る舞われたことにちなみ、来園者へ泡盛やお茶の振舞いが行われます。



昨年の朝拝御規式

首里城花まつり

首里城公園では、二〇〇六年一月二十八日(土)～二月二十六日(日)まで、花まつりを開催します。どうぞご来園ください。

●お問い合わせ：首里城公園管理センター
☎八八六二二〇二〇



催事情報 <12月～2月>

名称	日時	場所	備考
◆平成17年「首里王府お水取り行事」	12月18日(日) 14:00～15:15	国頭村辺戸区内	金剛石山見学会も実施。参加費3,000円。 ●お問い合わせ:那覇市文化協会 総合部会 山田豊二 TEL.090-7478-9267
◆第4回「首里王府への美御水の奉納祭」	12月25日(日) 15:00～16:00	首里公民館・龍潭通り・芸大前広場・円覚寺・首里城正殿	●お問い合わせ:首里城復元期成会 TEL.884-0609
◆新春の宴	1月1日(日)～3日(火)	首里城公園 御庭・下之御庭	●お問い合わせ:首里城公園管理センター TEL.886-2020
◆文化講座 中城御殿の美術工芸 講師:真榮平 房敬氏(那覇市文化財臨時審議委員)	1月21日(土) 14:00～16:00	沖縄県立博物館講堂	●お問い合わせ:沖縄県立博物館教育普及課 TEL.884-2243
◆首里城花まつり	1月28日(土)～2月26日(日)	首里城公園	●お問い合わせ:首里城公園管理センター TEL.886-2020
◆体験学習教室 サトウキビをしばって黒糖をつくる 講師:玉城 善哲氏(県立博物館指導主事)	1月28日(土) 9:00～15:00	沖縄県立博物館	募集期間:1月5日～1月15日。定員40名(多数の場合は抽選) 対象:教育関係者・一般。内容:キビしぼり・黒糖づくり ●お問い合わせ:沖縄県立博物館教育普及課 TEL.884-2243
◆閉館記念特別展 「柳宗悦の心と眼 柳宗悦の民藝と巨匠たち」展	2月14日(火)～3月12日(日)	沖縄県立博物館	●お問い合わせ:沖縄県立博物館教育普及課 TEL.884-2243

首里かわらばん Vol.3

琉球歴史回廊

特集

首里の旗頭

インタビュー
首里代表旗頭・瑞雲同好会会長

金城盛也さん

旗頭とは、綱引き行事の応援旗のことです。首里では青年会が中心となって旗頭を継承しており、各町のシンボルともいえる存在です。首里代表旗頭 瑞雲同好会として、旗頭に関わる活動、指導を行っている金城さんにお話をうかがいました。



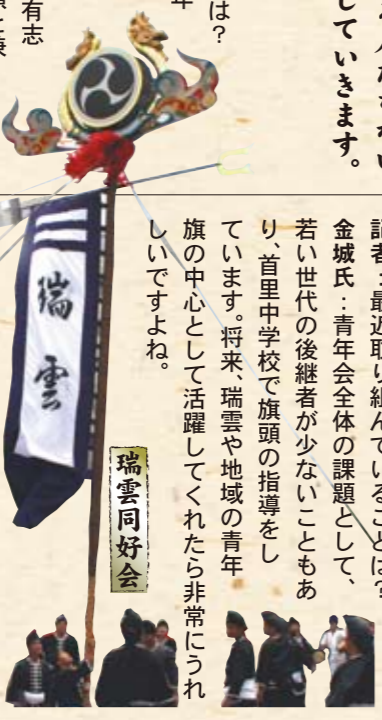
首里代表旗頭のいわれ
記者：瑞雲同好会の発足経緯は？
金城氏：同好会は一九七一年の那覇大綱挽復活の際、首里代表の旗頭として参加するため結成されました。メンバーは各町の青年会から有志で構成されており、地元の旗頭と兼任します。主に那覇まつりや首里城祭の絵巻行列の他、地域のイベントに出演しています。記者：瑞雲の旗頭は、他の旗頭と比べて非常に大きいですね。
金城氏：首里の旗頭は、百斤(六十キロ)を目安に作られたそうなので、その代表旗としてさらに大きく重くすべきと現在、七十三キロになっています。また、鼓燈籠は琉球王家の家紋である左御紋と大龍柱で首里にふさわしいデザインになっています。記者：そんなに重いと持ち上げるのも相当の技術が必要ですね。
金城氏：そうですね。しかし、旗持ちは旗頭の重さではなく、地域のプライドや誇りを背負っているのだと思っています。瑞雲の旗を持つ時は、同好会としてのプライドを持ちますし、首里文化祭の時には各町へ戻り、それぞれの地元を一番と思ってあげています。

後継者育成が課題

記者：これまでの活動で印象に残ったことは？
金城氏：四年前に首里中の体育祭で、首里中旗頭同好会と演舞したことがあります。昼休みを利用したのですが、瑞雲の旗を見ようとたくさんの方が集まってくれました。メンバーのほとんどが首里中出身ということもあり、母校であげられたのは感激でした。記者：最近取り組んでいることは？
金城氏：青年会全体の課題として、若い世代の後継者が少ないこともあり、首里中学校で旗頭の指導をしています。将来、瑞雲や地域の青年旗の中心として活躍してくれたら非常にうれしいですね。

旗頭で伝えられるもの

記者：旗頭に必要なのは？
金城氏：旗持はその技術だけではなく、人間性が重要だと思っています。中でも挨拶が一番。社会生活の何気ないけれど大事なことを、旗頭では伝えられます。最近では縦社会の弊害が語られますが、青年会活動で実践している、先輩から後輩へ教え伝えられることの良さをどう捉えていくか、地域や教育現場でも改めて考えるべきだと思います。記者：今後の展望を一言。
金城氏：瑞雲同好会は、各町の青年会や地域に支えられています。地域を動かすには、行政の力も必要ですが、自分たちでできることは地域ですべきだと思っています。これからも旗頭以外についても積極的に地域へ還元していきたいですね。記者：ありがとうございました。



語句解説

◆那覇大綱挽:毎年10月に開催される那覇まつりのメインイベントで、大綱はギネスブックにも認定されている。綱挽の応援旗として、那覇地区の各旗頭をはじめ、首里、小禄、真和志地区の代表旗が参加する。
◆首里文化祭:毎年11月3日に開催される首里地域のイベント。古式行列や旗頭を中心とした各町のパレードが行われる。



夜のガーエー(首里文化祭)(合成写真)

首里城から

「首里かわらばん」の窓口を担当する照屋さん。今年から首里城のイベントや広報等を担当し、今はお正月のイベントに向けて奔走中です。慣れないことが多いですが、いろいろな人に出会える仕事だからこそ、勉強していきたいと意欲に燃えています。皆さんが楽しんでもらえるイベントづくりにがんばりたいと思います。



首里城公園管理センター事業課 照屋亜希子さん

編集会議へ参加しませんか？

「琉球歴史回廊」とは、地域の歴史文化を大切にした、地域住民自らによる地域づくりのことです。それぞれの地域資源が多くなるの手によって、「気づき」「守り」「活用」しながら、琉球全体に広がっていくことを目的としています。首里かわらばんでは、首里地域の歴史や文化を楽しめる情報づくりをめざしています。現在、各町二回の編集会議への参加者を随時受け付けています。共に首里の魅力をアピールしてみませんか？
●お問い合わせ：事務局 ☎八八六一二二〇三九〇

琉球歴史回廊 首里かわらばん第3号
2005年12月発行
編集
琉球歴史回廊構想推進協議会事務局
(内閣府沖縄総合事務局開発建設部公園調整官室内)
〒900-8530 那覇市前島 2-21-7
TEL 098-862-2390 FAX 098-866-9049
発行
(財)海洋博覧会記念公園管理財団
首里城公園管理センター
〒900-8815 那覇市首里金城町 1-2
TEL 098-886-2020 FAX 098-886-2919
タイトルデザイン 石原左内
琉球歴史回廊
<http://www.dc.ogb.go.jp/kyoku/kairo/index.html>
首里城公園
<http://www.shurijo.com/>